

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 28 日(2022.7.28)

【公開番号】特開 2020-151119(P2020-151119A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2019-51873(P2019-51873)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 5

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 20 日(2022.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の記憶手段を有し、

「N」個のリールを有し、

フロントドアが閉鎖しており、且つ「N」個のリールが定速回転している状況において、
設定キースイッチがオンであることを示す信号が入力されているときに第 1 のストップス
イッチの操作が受け付けられた場合には、第 1 のストップスイッチに対応するリールを停
止するための励磁出力を所定期間に亘って実行可能とし、

内部抽せん手段により所定抽せん結果が決定され、「N - 1」個のリールが停止している
状況下で、「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられて、遊
技媒体の付与が行われる特定図柄組合せが停止表示される特定の遊技において、「N」個
目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられた場合は、「N」個目のリー
ルを停止させるための励磁出力を前記所定期間に亘って実行可能とし、

30

前記特定の遊技において、「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け
付けられた後であって、「N」個目のリールを停止させるための励磁出力を行う前記所定
期間が経過する前の所定のタイミングで「N」個目のリールに対応するストップスイッチ
の操作が離された場合は、前記所定期間が経過した後に遊技媒体の付与を実行可能とし、
特殊命令は、所定の記憶手段の記憶領域である特定の記憶領域に記憶されている情報と、
「n (n は数値)」とを比較可能な命令であり、

特殊命令の実行により、特定の記憶領域に記憶されている情報と「n」とが同じである場
合には、当該特殊命令が記憶されているアドレスに連続するアドレスに記憶されている命
令を実行せず、

40

特殊命令の実行により、特定の記憶領域に記憶されている情報と「n」とが同じでない場
合には、当該特殊命令が記憶されているアドレスに連続するアドレスに記憶されている命
令を実行可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

所定の記憶手段を有し、

「N」個のリールを有し、

フロントドアが閉鎖しており、且つ「N」個のリールが定速回転している状況において、

50

設定キースイッチがオンであることを示す信号が入力されているときに第 1 のストップスイッチの操作が受け付けられた場合には、第 1 のストップスイッチに対応するリールを停止するための励磁出力を所定期間に亘って実行可能とし、

内部抽せん手段により所定抽せん結果が決定され、「N - 1」個のリールが停止している状況下で、「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられて、遊技媒体の付与が行われる特定図柄組合せが停止表示される特定の遊技において、「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられた場合は、「N」個目のリールを停止させるための励磁出力を前記所定期間に亘って実行可能とし、

前記特定の遊技において、「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられた後であって、「N」個目のリールを停止させるための励磁出力を行う前記所定期間が経過する前の所定のタイミングで「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が離された場合は、前記所定期間が経過した後に遊技媒体の付与を実行可能とし、特殊命令は、所定の記憶手段の記憶領域である特定の記憶領域に記憶されている情報と、「n (n は数値)」とを比較可能な命令であり、

特殊命令の実行により、特定の記憶領域に記憶されている情報と「n」とが同じでない場合には、当該特殊命令が記憶されているアドレスに連続するアドレスに記憶されている命令を実行せず、

特殊命令の実行により、特定の記憶領域に記憶されている情報と「n」とが同じである場合には、当該特殊命令が記憶されているアドレスに連続するアドレスに記憶されている命令を実行可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

請求項 1 の発明（第 24 実施形態及び第 29 実施形態）は、

所定の記憶手段（RWM53）を有し、

「N」個（3 個）のリール（31）を有し、

フロントドアが閉鎖しており、且つ「N」個のリールが定速回転している状況下において、設定キースイッチがオンであることを示す信号が入力されているときに第 1 のストップスイッチの操作が受け付けられた場合には、第 1 のストップスイッチに対応するリールを停止するための励磁出力を所定期間（201.06ms 間）に亘って実行可能とし、

内部抽せん手段（役抽選手段 61）により所定抽せん結果が決定され、「N - 1」個のリールが停止している状況下で、「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられて、遊技媒体の付与が行われる特定図柄組合せが停止表示される特定の遊技において、「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられた場合は、「N」個目のリールを停止させるための励磁出力を前記所定期間に亘って実行可能とし、

前記特定の遊技において、「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられた後であって、「N」個目のリールを停止させるための励磁出力を行う前記所定期間が経過する前の所定のタイミングで「N」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が離された場合は、前記所定期間が経過した後に遊技媒体の付与を実行可能とし、特殊命令（図 170 中、「No. 22」の「RCPQ Z, (k), n」）は、所定の記憶手段の記憶領域である特定の記憶領域に記憶されている情報と、「n (n は数値)」とを比較可能な命令であり、

特殊命令の実行により、特定の記憶領域に記憶されている情報と「n」とが同じである場

10

20

30

40

50

合には、当該特殊命令が記憶されているアドレスに連続するアドレスに記憶されている命令を実行せず、

特殊命令の実行により、特定の記憶領域に記憶されている情報と「 n 」とが同じでない場合には、当該特殊命令が記憶されているアドレスに連続するアドレスに記憶されている命令を実行可能とする

ことを特徴とする。

請求項 2 の発明（第 2 4 実施形態及び第 2 9 実施形態）は、

所定の記憶手段（RWM 5 3）を有し、

「 N 」個（3 個）のリール（3 1）を有し、

フロントドアが閉鎖しており、且つ「 N 」個のリールが定速回転している状況下において、設定キースイッチがオンであることを示す信号が入力されているときに第 1 のストップスイッチの操作が受け付けられた場合には、第 1 のストップスイッチに対応するリールを停止するための励磁出力を所定期間（2 0 1 . 0 6 m s 間）に亘って実行可能とし、

内部抽せん手段（役抽選手段 6 1）により所定抽せん結果が決定され、「 $N - 1$ 」個のリールが停止している状況下で、「 N 」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられて、遊技媒体の付与が行われる特定図柄組合せが停止表示される特定の遊技において、「 N 」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられた場合は、「 N 」個目のリールを停止させるための励磁出力を前記所定期間に亘って実行可能とし、

前記特定の遊技において、「 N 」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が受け付けられた後であって、「 N 」個目のリールを停止させるための励磁出力を行う前記所定期間が経過する前の所定のタイミングで「 N 」個目のリールに対応するストップスイッチの操作が離された場合は、前記所定期間が経過した後に遊技媒体の付与を実行可能とし、特殊命令（図 1 7 0 中、「 $No. 2 1$ 」の「RCPQ NZ, (k), n 」）は、所定の記憶手段の記憶領域である特定の記憶領域に記憶されている情報と、「 n （ n は数値）」とを比較可能な命令であり、

特殊命令の実行により、特定の記憶領域に記憶されている情報と「 n 」とが同じでない場合には、当該特殊命令が記憶されているアドレスに連続するアドレスに記憶されている命令を実行せず、

特殊命令の実行により、特定の記憶領域に記憶されている情報と「 n 」とが同じである場合には、当該特殊命令が記憶されているアドレスに連続するアドレスに記憶されている命令を実行可能とする

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50